

「ほめ方」・「叱り方」の極意とは？ ～子どもの個性理解～

家庭教育に関する学習等で学びたいことベスト3

	小学2年保護者 (%)	小学5年保護者 (%)	中学2年保護者 (%)
1	子どものほめ方・叱り方 19.5	子どものほめ方・叱り方 17.1	子どもの学力や進学 18.0
2	子どものしつけやマナー 14.1	子どものしつけやマナー 13.7	子どものほめ方・叱り方 13.4
3	子どもの体や心の成長 10.7	子どもの学力や進学 11.9	子どもへの携帯電話・スマートフォンを持たせ方 11.2

注1 13項目の中から3つ選択

注2 上位3項目のみを表示

■参考 鹿児島県社会教育委員の会議（平成26年10月）

ワーク1 何のために、ほめたり叱ったりするのか、考えてみましょう。

エピソード

恭子さんの長女まゆちゃん（4歳）は、最近、大人のすることに興味津々。何でもまねをしますがります。今朝は、1Lパックの牛乳をコップに注ごうとしています。

恭子：（弁当の準備をしながら）まゆ、やめなさい。こぼしたらどうするの？

まゆ：だいじょうぶ。ちゃんとできるもん。

恭子：だめ。まゆには、まだ無理よ。いい子だから、ママの言うとおりにしなさい。

まゆ：やだ、まゆがする！

〔まゆは、椅子の上に立ち、コップに牛乳を注ごうとしたが、勢いよく牛乳が飛び出したため、びっくりしてバランスを崩し、椅子から落ちてしまう。運悪くコップも床へ…。〕

恭子：ほら、だから、だめって言ったでしょ!!

どうしてママの言うことが聞けないの？

まゆ：だって～～（大声で泣き出す）

恭子：泣いたってだめよ。もう！忙しいのに余計なことして、仕事に遅れるじゃない！



ワーク2 エピソードを読んで感じたことを書いてみましょう。

ワーク3 普段, どんなときに, どのようにほめたり叱ったりしているか振り返ってみましょう。

ワーク4 「ほめ方」, 「叱り方」で大切にしたいことをグループでまとめましょう。

特別な支援が必要な場合があります

ことばのやりとりがうまくいかない…。

育て方が悪いの？

個人差？

いつまでも落ち着きがない…。



一人で悩まずに, まずは相談を

思うようにいかず, 焦ったり, 落ち込んだり, 「困った子!!」とイライラしたり…。

失敗ばかり繰り返してしまい, お子さん自身も「困っている」ものです。

早期からの専門的なアドバイスによって, 効果的な働きかけをすることで, お子さんの困っている状態の改善が期待されます。

専門の相談窓口もありますので, 一人で悩まず相談してみましょう。

■参考 「家庭教育手帳」(文部科学省)

ふりかえり このプログラムをとおして, どんなことを考えましたか。